

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市真田町長6918-1
評価実施期間： 令和1年8月1日から令和1年11月25日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載）  B16022      B16023	

### 2 福祉サービス事業者情報（令和1年11月現在）

事業所名： （施設名） 佐久市立 田口保育園	種別： 保育所	
代表者氏名： 佐久市長 柳田清二 園長 島崎弘子 （管理者氏名） 副園長 市川真紀	定員（利用人数）：90名（現員75名）	
設置主体： 佐久市 経営主体： 佐久市	開設（指定）年月日： 昭和39年10月1日	
所在地：〒384-0412 長野県佐久市田口3117		
電話番号： 0267-62-2111	FAX番号： 0267-63-1680	
ホームページアドレス： <a href="https://www.city.saku.nagano.jp/taguchi">https://www.city.saku.nagano.jp/taguchi</a>		
職員数	常勤職員： 5 名      非常勤職員 10 名	
専門職員	（専門職の名称） 副園長 1 名      保育士 7 名	
	主任保育士 1 名      調理士 3 名	
	保育士 3 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 (1室) ほふく室 (1室) 保育室 (3室)	遊戯室 (1室) 調理室 (1室) 事務室 (1室) 便所 (3室)

### 3 理念・基本方針

#### 【佐久市保育理念】

子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り生きる力の基礎を培います。  
○擁護の教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します

#### 【保育目標】

- 1 自然の中で楽しく遊ぶ子ども
- 2 心身共にたくましい子ども
- 3 思いやりのある子ども

### 【田口 保育園とは】

- 保護者の方が働いたり、病気などのためご家庭で保育ができないときに保護者にかわって子どもさんの保育をします。
- 子ども達が、自分を十分に発揮して、楽しく一日を過ごし、生活するところです。
- 家庭や地域との交流を深め、子育ての相談や援助をしていくところです。

### 【田口 保育園の保育目標】

- 1 あいさつのできる子ども
- 2 夢中になって遊ぶ子ども
- 3 友だちを大切にできる子ども
- 4 人の話が聞ける子ども

## 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

### 【より豊かに育つために】

1. 子どもの育ちや個性を尊重し、日常生活に必要な習慣や態度を身に付けたり、一人一人のよさや可能性を育てる保育をしています。
2. 友だちと協力して十分に遊べる環境を整え、目的に向かってやり遂げる努力や忍耐が育つよう見守り、子どもが自ら考えた遊びや活動を大切にする保育をしています。
3. 一人一人の要求や思いを温かく受け入れ、自分からやろうとする意欲を大切に見守りながら、愛情をもって保育をしています。
4. 自然とのかかわりを多くし、小動物や植物とふれあう中で豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培う保育をしています。
5. 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養っています。
6. 楽しく食事をする中で、健康な身体や食習慣を身に付けていく保育をしています。
7. 保護者と連携を密にし、地域に開かれた保育をしています。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回（令和1年度）
---------------	------------

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◇特に良いと思う点

- ①保育環境に恵まれた保育がされていました。
  - 山々に囲まれた自然豊かな田園地帯にあり、歴史のある五稜郭・川村五臓記念館・新海三社神社が近隣にあり、地域の自然に触れて遊ぶことができます。友だちと関わりを深め、豊かな感性や探究心が育てられていました。
  - 保育士や友だち・地域の方と一緒に活動しながら人との関りを学び、友だちを思う気持ちを育てていました。
  - 畑作りを通していろんな体験（種の蒔き時・苗の植え付け・草むしり・水くれ）が収穫の喜びにつながり、作物を育てることを通して、食べ物への関心が持てるようにしていました。
  - 園庭には、野菜が作られ、ミニトマト・サツマイモ・ポップコーンを作りポップ

コーンは廊下に干されていました。また、バケツ田んぼが行われ、お米を育て収穫し小さなおにぎりが楽しめていました。

②地域の方と触れ合い学ぶ保育がされていました。

- ごりょう読み聞かせボランティアの受け入れを行い、園での読み聞かせを通して、絵本の貸し出しを行い、家庭での読み聞かせを浸透させ、家族との触れ合いを作り、心豊かに育つ保育がされていました。
- 地域の伝統行事の参加も積極的に関り、地域の方との交流が持てる保育がされていました。地域の方は月1回仕事を教えに来るなど行っていました。リンゴ狩りは地域の方のご厚意で楽しめていました。
- 園では、毎朝五稜郭公園までマラソンを行う取り組みがされ、外で元気いっぱい遊べる伸び伸び保育を行っていました。
- 近くには、公園があり緑豊かな環境です。秋には落ち葉や木の実が拾え工作も楽しめていました。

③異年齢保育の充実を図る取り組みがされていました。

- 広い園庭では、異年齢の子どもが駆け回り、お兄さんお姉さんの遊びを見る子、年齢の下の子の面倒を見たり遊びを教える姿が感じられます。園舎内では、年長児が昼食後廊下の雑巾掛けを行いきれいにする、体力をつける取り組みがされていました。年中児は、自室の雑巾かけをしていて年長になったら長い廊下掛けをする憧れ保育がされていました。散歩に行くときは年長児が年少児の手を引き面倒をみるということがあるとのこと。未就園児との交流会「なかよし会」は、園児と一緒に遊ぶ関わりがされ、園の様子を感じたり、保護者同士の交流をもつことができていました。

④学校との関りができていました。

- 小学校は、隣接されており園児たちは、学校の様子を感じることができていました。園にプールはありますが学校のプールを使用したり、児童祭り（田口っ子フェスティバル）、6月に音楽交流会、5年生と年長児の交流が年2回、11月に1年生とのあそびの交流会、12月に劇遊び交流会等、また園の運動会に小学生の参加種目がある。年長児の就学のための交流以外にも取り組みを行っていました。
- 入学に関しては、子育て支援課と連携を行い、小学校へのスムーズな移行ができる体制ができていました。

⑤虐待の取り組みがされていました。

- 虐待は、全職員で取り組み、勉強会を行っていました。市からの配布物や園長との研修がされ、まず家庭での虐待に注意を払い、子どもの様子・表情や体の傷、服装、他園児との関り方、などに注意を払い小さな気付きも園長や同僚への相談を心がけている。職員同士では、仕事の困りや、園児への接し方の様子の変化にお互い気付いた時は、園長に相談すると聞き取りができました。職員は、虐待について高い意識を持ち関わっていました。

⑥アレルギー・感染症対策に取り組まれました。

- 毎年4月にアレルギー確認調査を行い、症状の様子も細かく聞き取りがされ、対応もしていました。未満児は、今まで食べたことがあるのかもメニューを参考に

常時聞き取りされてきました。

- 感染症について子育て支援課の指示に基づきマニュアルに沿って行われ、家族との情報の共有をされてきました。

#### ◇特に改善する必要があると思う点

##### ①期待する職員像を目指す職場環境の改善を期待します。

- 人事考課制度や目標管理制度は、理念・基本方針を達成するための全体目標やチーム、職員一人ひとりの目標の総合を目指す仕組みと思われます。全職員は、張り合いもたれていますが、一層期待される職員像を目指すために臨時職員の待遇改善をお願いします。

##### ②不審者対応の徹底をお願いします。

- 保護者アンケートでもありましたが、不審者対応に不安を持たれていました。また観光地であり観光客なのか、地域の方なのか、不審者なのか職員も対応に苦慮されていましたが、地域と関りを持ち安全安心の保育の検討をお願いします。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価・・・（別添 1）
- ・ 内容評価・・・（別添 2）

## 8 利用者調査の結果

- ・ 別紙添付  
アンケート方式（別添 3-1）

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）